

情報連絡員報告・8月分

天候不順により夏物商戦は苦戦、販売不振のまま終わる

<東京都中央会>

8月の情報連絡員報告によると前月とくらべ、製造業・非製造業ともに売上高DI（前年同月比）は若干悪化、業界の景況DIは製造業は不変、非製造業は約10ポイント悪化した。特記事項からは「天候不順により夏物商品が苦戦」、「エアコン等の販売不振」、「厳しい暑さで客足が悪い」等の報告がよせられた。また、原油高騰が経営を圧迫しているという報告が再び多くなった。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

特記事項欄より

「繊維・同製品」

- ・石油の値上りにより、商品の仕入価格及び販売価格の値上げが始まった。昨年に続き、値上げに歯止めがかからなくなっている。仕入価格の上昇に応じた販売価格の値上げが出来ないので、利益率が低下している。（帆布製品製造業）
- ・秋物商品の出荷が始まった。見込みでは昨季の数字は確保しているが夏物のダメージで売場の活気がない。（帽子製造業）

「化学・ゴム」

- ・原油高騰の影響で原材料価格が一年前より40%程度上昇しているが、販売価格へ転嫁できず、経営が圧迫される状態が長く続いている。（ゴム製品製造業）

「鉄鋼・金属」

- ・長期化する原材料価格並びに原油価格の高騰で、上昇した費用を価格転嫁できない状態が続いている。収益は圧迫されており、今後も価格転嫁は難しいとみている。（ねじ類製造業）

「卸売業」

- ・米国産牛肉の輸入解禁によようやく明るい兆しがでてきたが、相場が高く、不安定な市況が続きそうである。（食肉卸売業）

「小売業」

- ・原油高騰によるメーカー側の製品の値上げが続き、配送に使用する車の燃料値上げと二重苦・三重苦となり、今後が心配される。（包装材料小売業）

- ・8月は厳しい暑さが続き、客足が悪く、店売りは不調だった。しかし、インターネット販売は好調で、店売りの減少分をネット販売で補っている面がある。

(古書籍小売業)

- ・冷夏の影響は大きく、エアコン等の夏物商品は不振のままだった。

(電気機械器具小売業)

みが大きい。今夏のサラリーマンはクールビズでラフな姿が多く、その影響が出ているか。

(洗濯業)

「運送業」

- ・今月になって、さらに軽油価格が値上げされ、収益や資金繰りが悪化している。荷動きは順調に推移している。

(貨物自動車運送業)

「商店街」

- ・天候不順により夏物商品が苦戦。デジタル関連商品は価格低下が著しく、販売価格の下落にともない、収益面に影響を与えている。

(秋葉原)

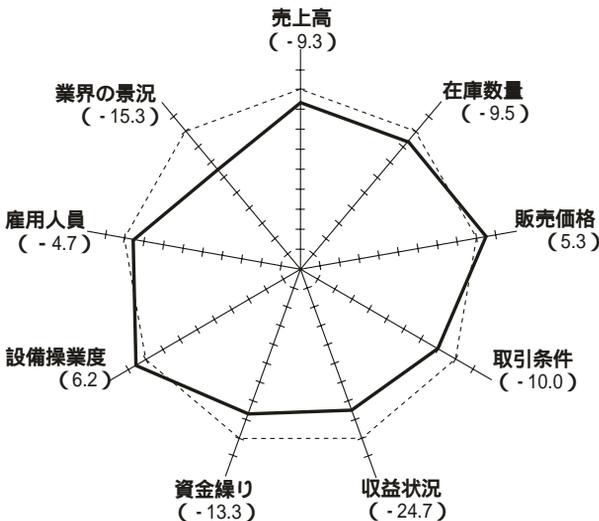
「サービス業」

- ・昔から8月は需要がふるわない時期であるが、他の業種と比較しても落ち込

<要望事項欄より>

- * 「万引き」が多くなっている。対策として防犯カメラやミラーを設置しているが、設備費がかかるので何らかの支援・サポートを願う。 [文具小売業]
- * 公務員への交通教育の実施、モラルを確立する具体策を [二輪自動車小売業]

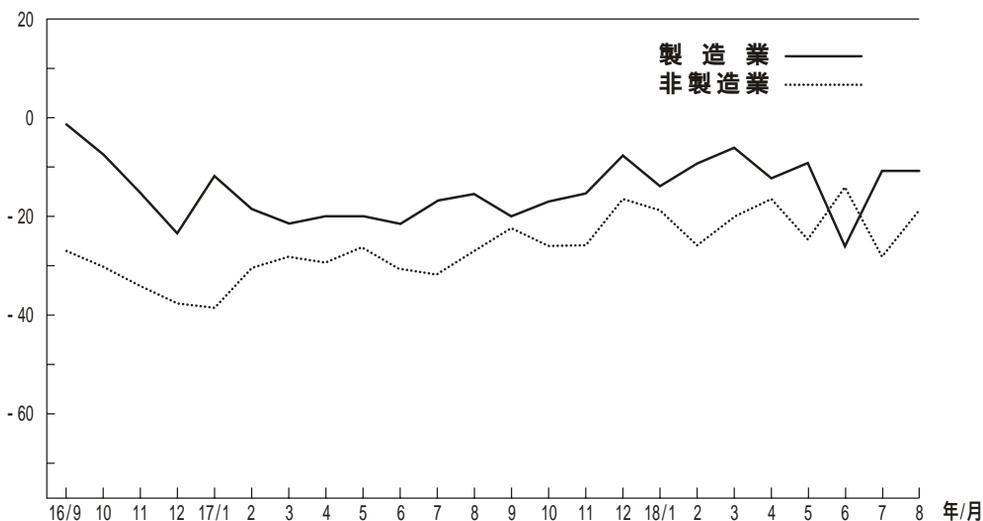
8月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)



(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

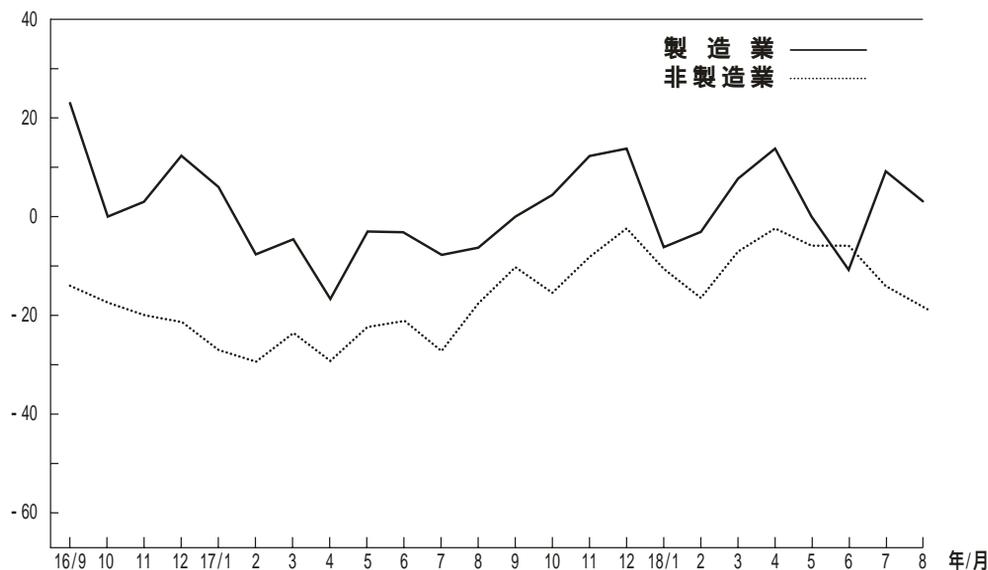
業界の景況DIの変化（H16.9～H18.8）

（前年同月比）



売上高DIの変化（H16.9～H18.8）

（前年同月比）



（注）DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。